



2011年2月23日

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

日興・スパークス・アジア中東株式ファンド（隔月分配型・資産成長型）の 運用状況について

日興・スパークス・アジア中東株式ファンド（隔月分配型・資産成長型）（以下、当ファンド）の直近の運用状況をお知らせします。

【中東地域の現状と市場環境について】

現在中東地域で続く混乱は、当初は2010年12月にチュニジアで、農産物を無免許で売っていた青年が、政府役人からの圧迫や将来への絶望から焼身自殺をしたことをきっかけとして始まりました。チュニジアではその出来事が引き金となり、一連の大衆によるデモが起り、ベンアリ政権を倒すことになりました。その後、チュニジアにおける人民の蜂起の成功の知らせは中東域内に広まり、エジプト、アルジェリア、イエメン、バーレーン、ヨルダン、リビア等におけるデモ活動は街路を占拠し、独裁政治の終わりを要求することになりました。国民と国際社会からのプレッシャーにより、エジプトのムバラク大統領（当時）は辞任、エジプトにおける約30年間の統治に終わりを告げ、軍部に主導される暫定政府に権力を引き渡しました。このレポートを書いている時点では、カダフィ大佐の追放を試みているリビアにまで状況が進展しています。現在注目されているのは事態が暴力的になったリビア情勢ですが、同時に、エジプトが成功裏に民主主義の政権へと移行できるのかどうか、また、中東地域における政治的な展望にどのような影響をもたらすのかといったことも注目されています。

こうした状況が投資家のセンチメントにどのような影響を与えるのか不透明であることから、中東の株式市場はネガティブに反応しています。エジプトの証券取引所は1月28日から閉鎖されており、中東の他の市場は2月に入ってからこれまでのところ下落しています。また中東における混乱は、原油の供給についての懸念も生じさせています。原油価格は、指標とされるWTI原油先物で直近1バレル95ドル近辺まで上昇しており、仮に混乱が続けば更に上昇することが予想されますが、情勢が落ち着けば急速に下落すると思われる。

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



【ファンドの運用状況と今後の運用方針について】

当ファンドは現在、運用資産の約 12%を中東の株式に実質的に投資しています。最大の投資先は Etihad Etisalat (サウジアラビア/電気通信サービス) で、Maroc Telecom (モロッコ/電気通信サービス)、Qatar Electricity & Water (カタール/公益事業)、First Gulf Bank (アラブ首長国連邦/金融)、National Bank of Kuwait (クウェート/金融)、Air Arabia (アラブ首長国連邦/資本財)、Rak Properties (アラブ首長国連邦/金融)、Emirates NBD (アラブ首長国連邦/金融) といった銘柄が続きます。なお、当ファンドはエジプトの株式は保有しておりません。

現在当ファンドで保有している中東の株式はそれぞれ、強いバランスシートと収益の持続性に優れた質が高いと判断する企業です。これらの企業の基礎的なビジネスは収益の回復が早いと思われま。昨年の収益は好調で、一部の企業は事前予想をも上回る結果となりました。先々の主なリスクとしては、政府、あるいは暫定政府の完全な崩壊、デモが長引いて投資やビジネスの拡大に影響をもたらすこと、投資家のリスク許容度が低下することなどが挙げられます。しかしながら、当ファンドの中東へのエクスポージャーの大半の部分は電気通信サービス、公益事業、そして高格付けの銀行セクターによって占められていることから、これらの企業への投資は過度な市場変動をしのぐ上でよいポジションであると考えています。

中東の株式市場は、短期的には依然として変動が激しいことが予想されます。同様に投資家のセンチメントも、状況が悪化するか改善するかによって急速に変化します。特にここ 2、3 週間の間、様々な情勢がいかにも早く変化するかを目撃してまいりました。たとえば、エジプトの情勢が暴力的になった時は中東の株式市場は大幅に下落しました。ムバラク大統領（当時）が辞任した後は急速に回復しましたが、リビアの情勢が悪化したため再び下落しました。

我々は状況を注意深く見守り、それらの見通しにあわせてポートフォリオを適切に調整していく方針です。現状、選別された投資先企業の株価は大変魅力的な水準になっていますが、中東情勢が落ち着いてきて状況が改善されたと確認するまでは中東株式への投資は現水準から大きく増やすことはないでしょう。仮に状況が更に悪化した場合は、中東の株式への投資比率を下げることを検討し、現状では政治的なリスクが少ないアジアに投資資金を回すでしょう。しかし長期的には、中東地域における政治的な展望の変化は、政府がより公平で効率的になることが予想され、ビジネスの拡大と株式市場の発展を促すきっかけになりうると考えています。

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



当ファンドのリスクについて

各ファンドは、主に投資信託証券に投資を行います。投資対象とする投資信託証券は、値動きのある外国株式などを投資対象としているため、基準価額は変動します。また、外貨建資産に投資しますので為替の変動により、基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

主なリスクとしては、下記のもの挙げられます。

■**価格変動リスク**：各ファンドは、実質的に外国株式を主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うこととなります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

■**新興国市場への投資リスク**：各ファンドは、実質的に新興国市場への投資も行います。新興国市場への投資は先進国への投資と比較して価格変動、流動性、為替変動、政治要因等のリスクが高いと考えられています。また、情報の開示などの基準が先進国とは異なることから投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。国有化、資産の収用、あるいは通貨の回金の制限等により、かかる国への投資はリスクを増大させることがあり、その結果、重大な損失が生じる場合があります。

■**為替変動リスク**：各ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、投資対象国の通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。外国為替相場の変動により投資を行う投資対象国の通貨建て資産の価格が変動し、これにより、基準価額が変動し、損失を生じる場合があります。

※ 投資リスクは、上記に限定されるものではありません。

お申込メモ（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

ファンド名	日興・スパークス・アジア中東株式ファンド（隔月分配型） / （資産成長型）
商品分類	追加型投信／海外／株式
購入単位	新規申込：10万円以上1円単位 追加申込：1万円以上1円単位 スイッチング申込：1万円以上1円単位 全額スイッチング申込 1円以上
購入価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	平成29年11月10日まで
決算日	[隔月分配型] 毎年1月・3月・5月・7月・9月・11月の各10日（休業日の場合は翌営業日） [資産成長型] 毎年11月10日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	[隔月分配型] 年6回の決算時に収益分配方針に基づいて収益分配を行います。

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



[資産成長型] 年1回の決算時に収益分配方針に基づいて収益分配を行います。

※ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わない場合があります。

※原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。再投資を停止し、分配金のお受取りをご希望される場合はお申し出ください。分配金のお受取りをご希望される場合、販売会社の定める所定の日よりお支払いいたします。

換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金 換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いいたします。

購入・換金申込不可日

販売会社の営業日であっても、以下に該当する日は、購入・換金（スイッチングを含みます。）申込の受付は行いません。

- ・香港の金融商品取引所および銀行の休業日等
- ・英国の金融商品取引所および銀行の休業日
- ・ケイマンの銀行の休業日

ファンドの諸費用について

当ファンドのご購入や運用期間中には以下の費用がかかります。

*課税関係については、投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。

*下記手数料の合計額は、購入金額や保有期間などに応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

■ご購入時

購入手数料率はお申込金額に応じて、以下のようになります。

- 1億円未満・・・・・・・・・・・・・・・・ 3.15%（税抜3.00%）
- 1億円以上5億円未満・・・・・・・・ 1.575%（税抜1.50%）
- 5億円以上10億円未満・・・・・・・・ 0.7875%（税抜0.75%）
- 10億円以上・・・・・・・・・・・・・・ 0.525%（税抜0.50%）

※購入手数料は別に定める場合この限りではありません。詳しくは販売会社までお問合せ下さい。

■ご換金（解約）時

換金（解約）手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

スイッチング手数料 ありません。（換金時と同様の課税上の取扱いとなります。）

■保有期間中（信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用）

信託報酬：日々の信託財産の純資産総額に対して年率0.89775%（税抜0.855%）を乗じて得た額。また組入れる投資対象ファンドの合計純資産に対して年率1.0%程度の費用が投資対象ファンドより負担されますので、実質的に負担する信託報酬等は年率

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



1.89775%（税込）程度となります。

その他費用：監査費用、目論見書や運用報告書等の作成費用など諸費用等ならびに投資対象ファンドの組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管費用等を信託財産でご負担いただきます。投資対象ファンドにおいては上記の他、受託会社報酬、保管会社報酬などの費用がかかります。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社までお問い合わせください。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡します。必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

ファンドの関係法人

■委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 346 号

加入協会（社）投資信託協会 （社）日本証券投資顧問業協会 日本証券業協会

信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

■受託会社 中央三井アセット信託銀行株式会社

（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）

ファンドの受託者として、委託者の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託を行います。

■販売会社 日興コーディアル証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 2251 号

加入協会 日本証券業協会 （社）日本証券投資顧問業協会 （社）金融先物取引業協会

※ 日興コーディアル証券株式会社は平成 23 年 4 月 1 日より SMBC 日興証券株式会社に社名変更される予定です。

ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、分配金の再投資、一部解約金・償還金の支払の取扱い等を行います。

お問い合わせ先：

スパークス・アセット・マネジメント株式会社 電話番号 03-5435-8200 （受付時間：営業日の 9：00～17：00）

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。